

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

ALSHIN
BANK<https://www.shinkin.co.jp/alshin/>

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業安定所管内)		2024/11 1.35 倍	2023/11 1.31 倍	前年同月比 0.04 倍
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	6,196 台	6,460 台	-4.09 %
	中古車	2,264 台	2,167 台	4.48 %
	合計	8,460 台	8,627 台	-1.94 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡)		9~11月 258 件	9~11月 338 件	-23.67 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		47,928 人	45,610 人	5.08 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	295,183 台	292,339 台	0.97 %
	出	270,716 台	281,772 台	-3.92 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	280,904 台	296,452 台	-5.24 %
	出	283,164 台	304,446 台	-6.99 %
中央道利用台数 (小黒川スマートインター分)	入	152,681 台	150,560 台	1.41 %
	出	150,494 台	147,728 台	1.87 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	251,301 台	247,151 台	1.68 %
	出	255,446 台	255,016 台	0.17 %
中央道利用台数 (駒ヶ岳スマートインター分)	入	76,372 台	75,105 台	1.69 %
	出	66,106 台	71,607 台	-7.68 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	194,062 台	195,375 台	-0.67 %
	出	188,718 台	190,969 台	-1.18 %

前期 7 - 9 月 今期 10 - 12 月 来期 1 - 3 月 4 - 6 月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先185社に対し、2024年10~12月期の景気の現状と2025年1~3月月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は14.5%（前期15.4%）、悪かったとする企業は39.0%（前期36.7%）であった。業種別に見ると、良かったとする企業の割合が最も多かったのは製造業で16.9%（前期17.5%）、続いて不動産業が16.7%（前期33.3%）、建設業が16.2%（前期20.5%）、の順であった。また、悪かったとする企業の割合が多かった業種は製造業で55.4%（前期50.8%）、続いて小売業が54.5%（前期48.4%）、サービス業が26.1%（前期31.8%）、の順であった。

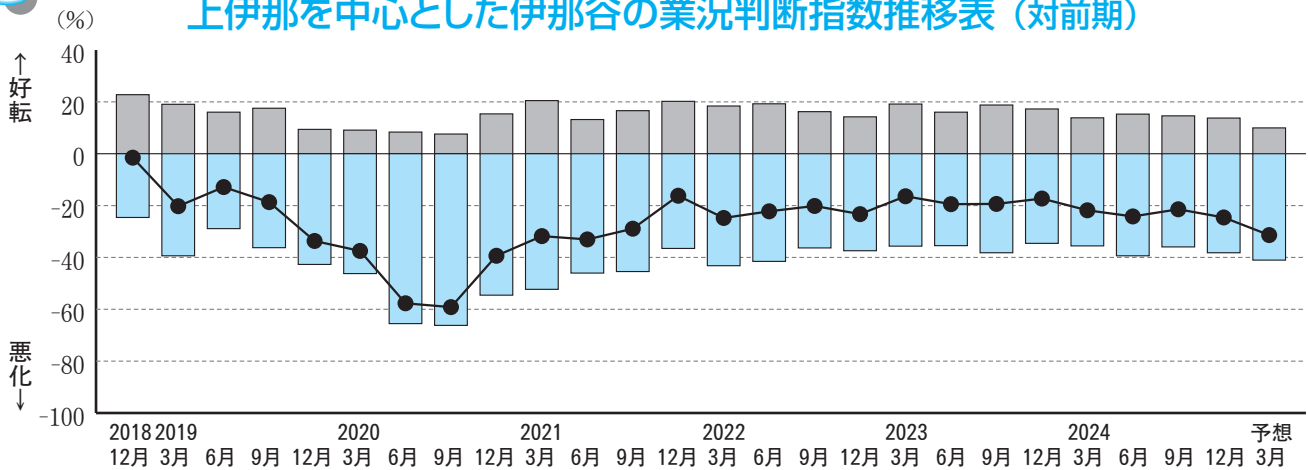
DIを総合的に見ると▲24.4（前期▲21.3）と▲3.1ポイントで悪化傾向が強まった状況。

業種別にDIを見ると、プラス領域であるのは不動産業が16.7（前期33.3）、建設業が2.7（前期7.7）であるが、それぞれ▲16.6、▲5.0で好調感は後退している。他の業種はいずれもマイナス領域で、低調感強い順に小売業が▲39.4（前期▲41.9）、製造業が▲38.5（前期▲33.3）、卸売業が▲25.0（前期▲37.5）、サービス業が▲17.4（前期▲18.2）の順となった。

◇**来期の業況予想**：来期の業況予想を総合的に見ると、良いと予想する企業は10.5%（今期14.5%）、悪いと予想する企業は41.9%（今期39.0%）、DIは▲31.4（今期▲24.4）と7.0ポイントの下降で悪いと予想する企業は増加している。

業種別のDIを見ると、不動産業が16.7（今期16.7）で好調感を維持の予想。卸売業は0.0（今期▲25.0）とプラス25.0ポイントで回復基調。逆に建設業では▲10.8（今期2.7）と▲13.5ポイントで悪化に転じ、サービス業では▲43.5（今期▲17.4）と▲26.1ポイント、製造業では▲43.1（今期▲38.5）と▲4.6ポイントでいずれも低調感を強める予想。また、小売業では▲39.4（今期▲39.4）と水面下のまま業況は変わらない予想となった。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



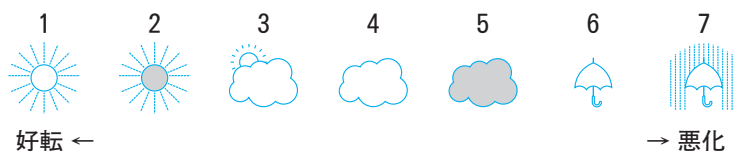
※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	2024年	2024年	2024年	2025年
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期予想
総合		☁️	☁️	☁️	☔️
製造業		☔️	☔️	☔️	☔️
建設業		☁️	☁️	☁️	☁️
卸売業		☁️	☔️	☁️	☁️
小売業		☁️	☔️	☔️	☔️
サービス業		☁️	☁️	☁️	☔️
不動産業		☁️	☀️	☁️	☁️



製造業

(調査先企業70社 うち回答企業65社)

◇今期の業況：良かったとする企業は16.9%（前期17.5%）、悪かったとする企業は55.4%（前期50.8%）、DIは▲38.5（前期▲33.3）と▲5.2ポイントで悪化傾向が強まった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲7.7（前期▲9.5）とプラス1.8ポイント、収益のDIは▲7.7（前期▲15.9）とプラス8.2ポイント、受注残のDIにおいては▲9.2（前期▲22.2）とプラス13.0ポイントでいずれも減少幅は縮小している。価格面では、販売価格のDIは9.2（前期6.3）とプラス2.9ポイントで上昇と答えた企業の割合は増加、原材料価格のDIでは▲49.2（前期▲39.7）で▲9.5ポイントと上昇は強まった。資金繰りのDIは▲25.0（前期▲21.0）と▲4.0ポイントで窮屈さは増している。借入れをした企業は23.1%（前期25.4%）、設備投資の実施をした企業は39.4%（前期38.5%）であった。

前年同期比で見ると、売上額のDIは▲18.5（前年同期▲32.3）とプラス13.8ポイント、収益のDIも▲29.2（前年同期▲43.1）とプラス13.9ポイントでいずれも厳しさが和らいできている。

◇来期の見通し：来期の見通しについて、業況のDIは▲43.1（今期▲38.5）と▲4.6ポイントで低調感を強める予想をしている。

各指標別を今期と比べてみると、売上額のDIは▲20.0（今期▲7.7）と▲12.3ポイント、収益のDIにおいても▲23.1（今期▲7.7）と▲15.4ポイント、また、受注残のDIにおいても▲14.1（今期▲9.2）と▲4.9ポイントでいずれにおいても減少幅が拡大する予想である。価格面では、原材料価格のDIは▲35.4（今期▲49.2）とプラス13.8ポイントで上昇傾向は弱まり、販売価格のDIにおいても6.2（今期9.2）と▲3.0ポイントで上昇傾向は弱まる予想である。資金繰りのDIでは▲14.1（今期▲25.0）とプラス10.9ポイントで窮屈感は緩和される見通しである。借入れを予定している企業は26.2%（今期実施23.1%）、設備投資の実施を予定している企業は41.4%（今期実施39.4%）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業況	▲33.8	▲44.6	▲44.1	▲33.3	▲38.5	▲43.1	
売上額	▲16.9	▲42.4	▲20.6	▲9.5	▲7.7	▲20.0	
受注残	▲15.4	▲25.8	▲11.8	▲22.2	▲9.2	▲14.1	
収益	▲21.5	▲28.8	▲19.1	▲15.9	▲7.7	▲23.1	
販売価格	15.4	7.6	2.9	6.3	9.2	6.2	
原材料価格	▲47.7	▲31.8	▲48.5	▲39.7	▲49.2	▲35.4	
原材料在庫	16.9	18.2	17.6	17.5	20.0	13.8	
資金繰り	▲18.8	▲13.6	▲19.4	▲21.0	▲25.0	▲14.1	

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借入実施	した	27.7	22.7	29.9	25.4	23.1	26.2
	しない	72.3	77.3	70.1	74.6	76.9	73.8
借入難易度	容易	13.8	7.6	10.4	6.5	9.2	—
	不変	66.2	72.7	70.1	69.4	63.1	—
	難	9.2	6.1	9.0	11.3	9.2	—
	該当なし	10.8	13.6	10.5	12.8	18.5	—

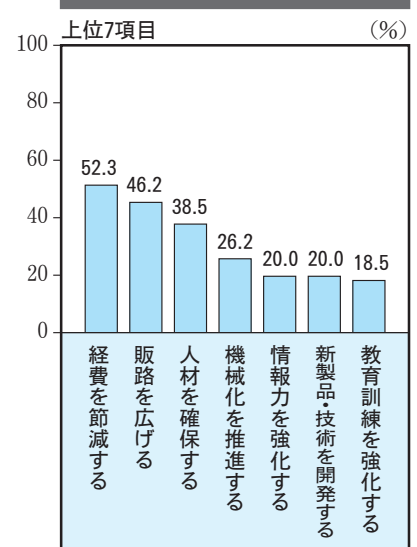
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実施	した	46.3	39.7	50.6	38.5	39.4	41.4
	しない	53.7	60.3	49.4	61.5	60.6	58.6
状況	過剰	13.8	10.6	11.8	6.3	13.8	13.8
	適正	77.0	81.8	79.4	81.0	75.4	80.0
	不足	9.2	7.6	8.8	12.7	10.8	6.2
DI	4.6	3.0	3.0	▲6.4	3.0	7.6	

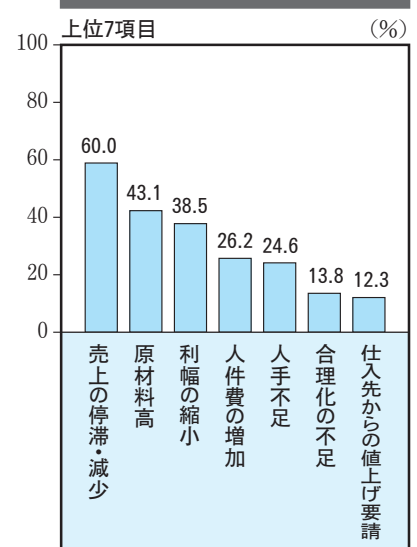
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残業時間	増加	16.9	12.1	12.1	13.1	21.9	10.9
	不変	52.3	57.6	51.5	54.1	56.2	73.5
	減少	30.8	30.3	36.4	32.8	21.9	15.6
人手	過剰	20.0	30.3	27.9	22.2	32.3	24.6
	適正	56.9	54.5	51.5	55.6	44.6	60.0
	不足	23.1	15.2	20.6	22.2	23.1	15.4

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



景況調査レポート

建設業 (調査先企業42社 うち回答企業37社)

◇今期の業況：良かったとする企業は16.2%（前期20.5%）、悪かったとする企業は13.5%（前期12.8%）で、DIは2.7（前期7.7）と▲5.0ポイントで好感度は後退している。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは10.8（前期0.0）と増加傾向となったが、受注残のDIにおいては▲5.4（前期7.7）と▲13.1ポイントで増加から減少に転じた。収益のDIでは2.7（前期▲15.4）とプラス18.1ポイント、施工高のDIにおいても10.8（前期▲7.7）とプラス18.5ポイントといずれも良化に転じている。価格面では、請負価格のDIは2.7（前期▲5.1）とプラス7.8ポイントで上昇に転じ、材料価格のDIは▲62.2（前期▲59.0）と▲3.2ポイントで上昇したとする企業の割合は増加した。資金繰りのDIは▲13.5（前期▲12.8）と▲0.7ポイントで窮屈感がやや強まった。借入れをした企業は35.1%（前期30.8%）、設備投資の実施をした企業は46.7%（前期38.1%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは▲13.5（前年同期0.0）と▲13.5ポイント、収益のDIにおいても▲13.5（前年同期▲10.8）と▲2.7ポイントで減少傾向を強めている。

◇来期の見通し：来期の見通しについては、業況のDIは▲10.8（今期2.7）と▲13.5ポイントで、厳しさを強める予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは▲13.5（今期10.8）▲24.3ポイント、収益のDIにおいては▲8.1（今期2.7）と▲10.8ポイントでいずれも増加から減少に転じる予想。受注残のDIにおいては▲16.2（今期▲5.4）と▲10.8ポイントで更に減少の予想となった。価格面では、請負価格のDIは▲5.4（今期2.7）と▲8.1ポイントで下降傾向に転じ、材料価格のDIにおいては▲59.5（今期▲62.2）とプラス2.7ポイントでやや上昇傾向は和らぐ見通しである。資金繰りのDIにおいては▲18.9（今期▲13.5）と▲5.4ポイントで窮屈感は強まる見通しである。借入れを予定している企業は35.1%（今期実施35.1%）、設備投資の実施を予定している企業は43.9%（今期実施46.7%）となっている。

※「売上高=完成工事高」、「施工高=出来高」、「請負価格=受注額」

◆DI指数推移

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業況	5.3	2.6	7.7	7.7	2.7	▲10.8	
売上額	▲2.6	▲2.6	▲10.3	0.0	10.8	▲13.5	
受注残	21.1	▲17.9	▲20.5	7.7	▲5.4	▲16.2	
収益	▲5.3	▲2.6	▲28.2	▲15.4	2.7	▲8.1	
請負価格	15.8	15.4	0.0	▲5.1	2.7	▲5.4	
材料価格	▲71.1	▲56.4	▲66.7	▲59.0	▲62.2	▲59.5	
在庫	▲5.3	2.6	0.0	0.0	5.4	5.4	
資金繰り	▲10.5	▲2.6	▲10.3	▲12.8	▲13.5	▲18.9	

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借入実施	した	35.1	28.9	30.8	30.8	35.1	35.1
	しない	64.9	71.1	69.2	69.2	64.9	64.9
借入難易度	容易	10.8	7.9	5.1	12.8	8.3	-
	不変	67.6	65.8	69.2	69.2	69.4	-
	難	5.4	5.3	5.1	2.6	8.3	-
	該当なし	16.2	21.0	20.6	15.4	14.0	-

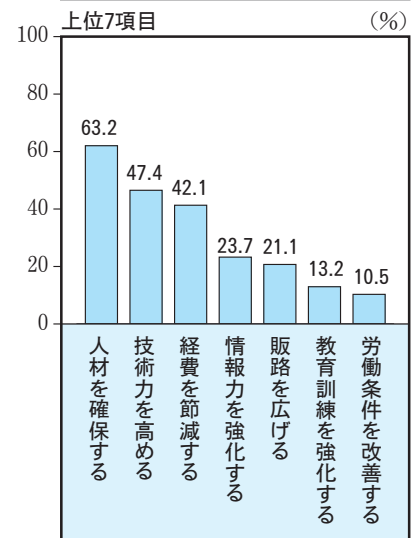
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実施	した	46.3	46.5	41.5	38.1	46.7	43.9
	しない	53.7	53.5	58.5	61.9	53.3	56.1
状況	過剰	0.0	5.1	2.6	0.0	0.0	0.0
	適正	94.7	92.3	89.7	89.7	91.7	94.3
	不足	5.3	2.6	7.7	10.3	8.3	5.7
DI	▲5.3	2.5	▲5.1	▲10.3	▲8.3	▲5.7	

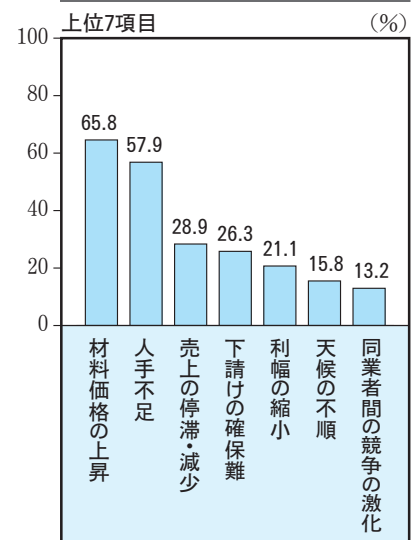
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残業間	増加	15.8	2.6	12.8	0.0	5.4	10.8
	不変	73.7	79.0	59.0	79.5	73.0	81.1
	減少	10.5	18.4	28.2	20.5	21.6	8.1
人手	過剰	0.0	0.0	2.6	5.1	0.0	4.9
	適正	39.5	53.8	38.4	38.5	51.4	43.9
	不足	60.5	46.2	59.0	56.4	48.6	51.2

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



卸 売 業 (調査先企業8社 うち回答企業8社)

◇今期の業況：良かったとする企業は0.0%（前期0.0%）、悪かったとする企業は25.0%（前期37.5%）となり、DIは▲25.0（前期▲37.5）とプラス12.5ポイントで低調感は緩和されている。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは50.0（前期0.0）、収益のDIは37.5（前期0.0）とプラス37.5ポイントで増加傾向に振れている。販売価格のDIは50.0（前期62.5）と▲12.5ポイントで上昇が弱まり、仕入価格のDIについても▲50.0（前期▲62.5）とプラス12.5ポイントで上昇傾向は弱まっている。また、資金繰りのDIにおいては0.0（前期0.0）と窮屈感は無状態を維持している。借入れをした企業は25.0%（前期25.0%）、設備投資の実施をした企業は25.0%（前期25.0%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは12.5（前年同期37.5）と▲25.0ポイント、収益のDIにおいては0.0（前年同期37.5）と▲37.5ポイントでいずれも好調感が後退した。

◇来期の見通し：来期の見通しについては、業況のDIは0.0（今期▲25.0）とプラス25.0ポイントで回復する予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは▲25.0（今期50.0）で▲75.0ポイントと減少基調に振れ、収益のDIにおいても▲37.5（今期37.5）と▲75.0ポイントで減少に転じる予想。価格面をみると、販売価格のDIは37.5（今期50.0）と▲12.5ポイントで上昇傾向が一服する見通し。仕入価格のDIにおいても▲25.0（今期▲50.0）と上昇は弱まる予想である。また、資金繰りのDIにおいては0.0（今期0.0）で変わらず安定推移の予想である。借入れを予定している企業は25.0%（今期実施25.0%）、設備投資の実施を予定している企業は22.2%（今期実施25.0%）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲12.5	▲28.6	▲28.6	▲37.5	▲25.0	0.0	
売 上 額	25.0	▲71.4	0.0	0.0	50.0	▲25.0	
収 益	37.5	▲57.1	▲28.6	0.0	37.5	▲37.5	
販 売 価 格	37.5	28.6	57.1	62.5	50.0	37.5	
仕 入 価 格	▲75.0	▲42.9	▲57.1	▲62.5	▲50.0	▲25.0	
在 庫	0.0	0.0	0.0	▲12.5	▲12.5	▲12.5	
資 金 繰 り	12.5	14.3	▲28.6	0.0	0.0	0.0	

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	25.0	28.6	28.6	25.0	25.0	25.0
	しない	75.0	71.4	71.4	75.0	75.0	75.0
借 入 難 易 度	容 易	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	不 変	62.5	71.4	85.7	75.0	75.0	—
	難	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	—
	該当なし	25.0	28.6	14.3	12.5	12.5	—

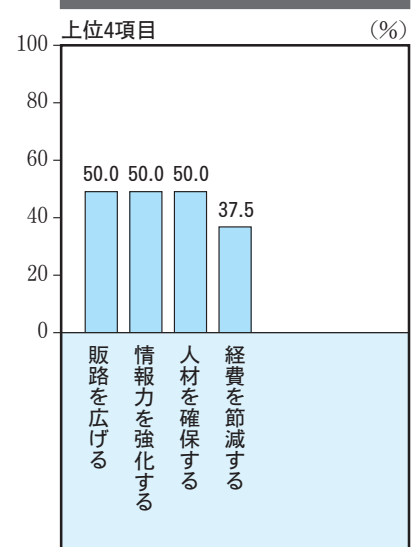
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	33.3	0.0	37.5	25.0	25.0	22.2
	しない	66.7	100.0	62.5	75.0	75.0	77.8
状 況	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	87.5	100.0	85.7	100.0	87.5	87.5
	不 足	12.5	0.0	14.3	0.0	12.5	12.5
DI	▲12.5	0.0	▲14.3	0.0	▲12.5	▲12.5	

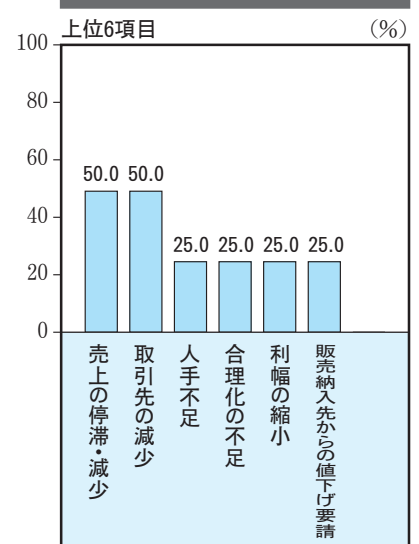
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	不 変	75.0	85.7	85.7	87.5	87.5	100.0
	減 少	12.5	14.3	14.3	12.5	0.0	0.0
人 手	過 剰	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	適 正	87.5	85.7	71.4	75.0	75.0	75.0
	不 足	12.5	0.0	14.3	25.0	25.0	25.0

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



景況調査レポート

小 売 業

(調査先企業35社 うち回答企業33社)

◇**今期の業況**：良かったとする企業は15.2%（前期6.5%）、悪かったとする企業は54.5%（前期48.4%）、DIは▲39.4（前期▲41.9）とプラス2.5ポイントで低調感はやや弱まった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲12.1（前期▲6.5）と▲5.6ポイント、収益のDIも▲21.2（前期▲12.9）と▲8.3ポイントでいずれも減少幅が拡大している。価格面では、販売価格のDIは48.5（前期38.7）とプラス9.8ポイントで上昇幅は拡大、仕入価格のDIにおいても▲69.7（前期▲45.2）と▲24.5ポイントで仕入価格の上昇幅は拡大した。また、資金繰りのDIは▲27.3（前期▲19.4）と▲7.9ポイントで窮屈感は強まった。借入れをした企業は18.2%（前期22.6%）、設備投資の実施をした企業は20.0%（前期25.0%）となっている。

これを前年同期と比較すると、売上額のDIは▲33.3（前年同期29.0）と▲62.3ポイントで増加から減少に、また、収益のDIにおいても▲42.4（前年同期19.4）と▲61.8ポイントで増加から減少に転じている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは▲39.4（今期▲39.4）と厳しい状況は変わらない予想となった。

各指標別を今期と比べてみると、売上額のDIは▲6.1（今期▲12.1）とプラス6.0ポイントで改善の予想であるが、収益のDIにおいては▲30.3（今期▲21.2）と▲9.1ポイントで低迷する予想である。販売価格のDIは33.3（今期48.5）と▲15.2ポイントで上昇は弱まる予想、仕入価格のDIは▲54.5（今期▲69.7）とプラス15.2ポイントで上昇幅は縮小する予想である。資金繰りのDIは▲27.3（今期▲27.3）と窮屈感は変わらない予想となった。借入れを予定している企業は28.1%（今期実施18.2%）、設備投資の実施を予定している企業は17.2%（今期実施20.0%）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲3.2	▲12.9	▲25.8	▲41.9	▲39.4	▲39.4	
売 上 額	35.5	3.2	▲22.6	▲6.5	▲12.1	▲6.1	
収 益	19.4	▲12.9	▲35.5	▲12.9	▲21.2	▲30.3	
販 売 価 格	58.1	45.2	51.6	38.7	48.5	33.3	
仕 入 価 格	▲74.2	▲51.6	▲64.5	▲45.2	▲69.7	▲54.5	
在 庫	25.8	6.5	9.7	6.5	18.2	9.1	
資 金 繰 り	▲16.1	▲9.7	▲12.9	▲19.4	▲27.3	▲27.3	

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	22.6	23.3	16.1	22.6	18.2	28.1
	しない	77.4	76.7	83.9	77.4	81.8	71.9
借 入 難 易 度	容 易	16.7	6.7	16.7	20.0	12.9	—
	不 変	53.3	63.3	66.7	60.0	64.5	—
	難	10.0	13.3	6.7	13.3	12.9	—
	該当なし	20.0	16.7	9.9	6.7	9.7	—

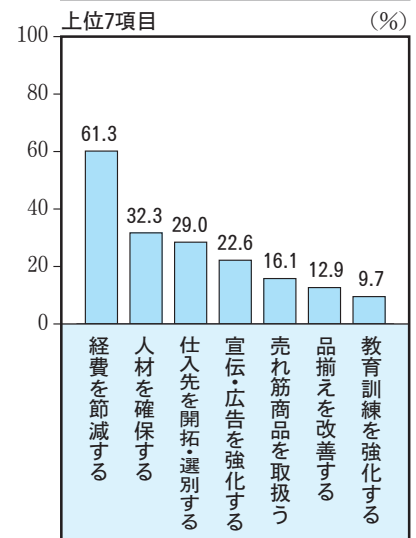
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	22.2	17.4	14.8	25.0	20.0	17.2
	しない	77.8	82.6	85.2	75.0	80.0	82.8
状 況	過 剰	6.5	9.7	3.2	3.2	3.0	6.1
	適 正	83.8	83.8	77.4	77.4	90.9	87.8
	不 足	9.7	6.5	19.4	19.4	6.1	6.1
DI	▲3.2	3.2	▲16.2	▲16.2	▲3.1	0.0	

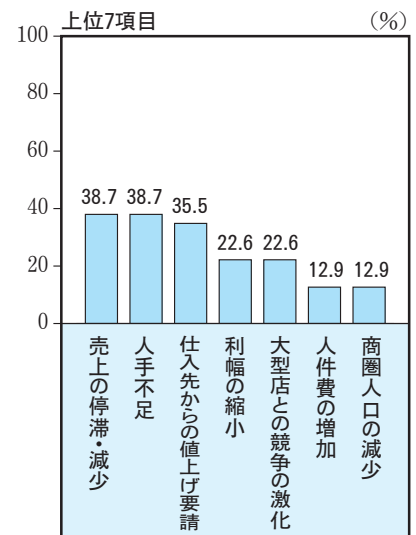
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	20.0	6.7	10.3	13.8	9.4	12.9
	不 変	76.7	83.3	86.3	72.4	78.1	74.2
	減 少	3.3	10.0	3.4	13.8	12.5	12.9
人 手	過 剰	3.3	6.7	0.0	10.0	6.3	3.2
	適 正	63.4	50.0	66.7	53.3	56.2	54.9
	不 足	33.3	43.3	33.3	36.7	37.5	41.9

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



サービス業

(調査先企業24社 うち回答企業23社)

◇**今期の業況**：良かったとする企業は8.7%（前期13.6%）、悪かったとする企業は26.1%（前期31.8%）、DIは▲17.4（前期▲18.2）とプラス0.8ポイントでやや改善となった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲26.1（前期9.1）と▲35.2ポイントで増加から減少に転じ、収益のDIにおいても▲30.4（前期▲9.1）と▲21.3ポイントで減少を強めている。料金価格のDIは4.3（前期22.7）と▲18.4ポイントで上昇が弱まったが、仕入価格のDIでは▲60.9（前期▲59.1）と▲1.8ポイントでやや上昇が強まっている。また、資金繰りのDIでは▲21.7（前期▲18.2）と▲3.5ポイントで窮屈感も強まっている。借入れをした企業は13.6%（前期4.8%）、設備投資の実施をした企業は38.5%（前期36.0%）となっている。

前年同期との比較では、売上額のDIは9.1（前年同期13.0）と▲3.9ポイントで好調感は後退、収益のDIでは▲4.5（前年同期▲4.3）と▲0.2ポイントで好調感はやや減少している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは▲43.5（今期▲17.4）と▲26.1ポイントで低調感を強める予想となった。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは▲47.8（今期▲26.1）と▲21.7ポイント、収益のDIにおいても▲47.8（今期▲30.4）と▲17.4ポイントでいずれも減少を強める見通しである。仕入価格のDIは▲39.1（今期▲60.9）とプラス21.8ポイントで価格上昇は弱まる予想、料金価格のDIは▲8.7（今期4.3）と▲13.0ポイントで下降に転じる見通しである。資金繰りのDIは▲31.8（今期▲21.7）と▲10.1ポイントで窮屈感は強まる予想となった。借入れを予定している企業は4.3%（今期実施13.6%）、設備投資の実施を予定している企業は20.8%（今期実施38.5%）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲26.1	▲21.7	▲24.0	▲18.2	▲17.4	▲43.5	
売 上 額	▲17.4	▲34.8	8.0	9.1	▲26.1	▲47.8	
収 益	▲21.7	▲34.8	4.0	▲9.1	▲30.4	▲47.8	
料 金 価 格	4.3	0.0	32.0	22.7	4.3	▲8.7	
材 料 価 格	▲56.5	▲65.2	▲72.0	▲59.1	▲60.9	▲39.1	
資 金 繰 り	▲17.4	▲21.7	▲20.0	▲18.2	▲21.7	▲31.8	

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 施	した	13.0	26.1	16.0	4.8	13.6	4.3
	しない	87.0	73.9	84.0	95.2	86.4	95.7
借 入 難 易 度	容 易	8.7	8.7	13.0	9.1	17.4	—
	不 変	52.2	65.2	60.9	54.5	43.5	—
	難	17.4	13.0	17.4	13.6	13.0	—
	該当なし	21.7	13.1	8.7	22.8	26.1	—

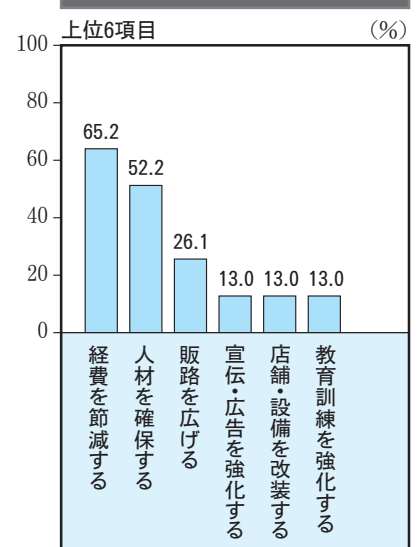
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	32.0	26.9	30.8	36.0	38.5	20.8
	しない	68.0	73.1	69.2	64.0	61.5	79.2
状 況	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.8
	適 正	69.6	60.9	72.0	81.8	65.3	66.6
	不 足	30.4	39.1	28.0	18.2	30.4	28.6
DI	▲30.4	▲39.1	▲28.0	▲18.2	▲26.1	▲23.8	

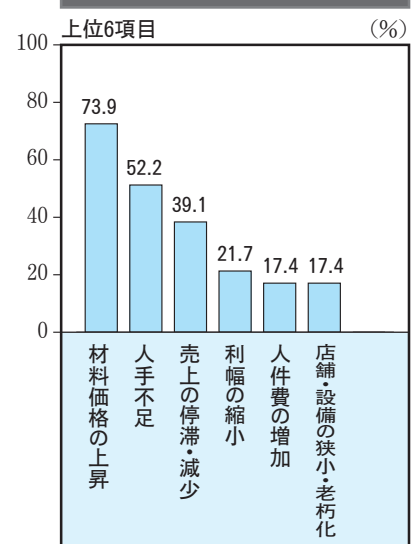
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	8.7	13.0	4.2	9.5	4.3	0.0
	不 変	82.6	74.0	91.6	85.7	78.3	82.6
	減 少	8.7	13.0	4.2	4.8	17.4	17.4
人 手	過 剰	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3
	適 正	47.8	52.2	44.0	63.6	52.2	56.6
	不 足	52.2	43.5	56.0	36.4	47.8	39.1

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：良かったとする企業は**16.7%**（前期**33.3%**）、悪かったとする企業は**0.0%**（前期**0.0%**）で、DIは**16.7**（前期**33.3**）と▲**16.6**ポイントで好調感は弱まった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲**33.3**（前期**0.0**）と▲**33.3**ポイントで低迷したが、収益のDIについては**0.0**（前期**0.0**）と安定している。価格面においては、販売価格のDIは**0.0**（前期**33.3**）と上昇は落ち着きを見せたが、仕入価格のDIにおいては▲**16.7**（前期▲**16.7**）と上昇傾向は変わらなかった。資金繰りのDIは、**0.0**（前期▲**16.7**）とプラス**16.7**ポイントで窮屈感は無くなった。借入れをした企業は**50.0%**（前期**66.7%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは**16.7**（前年同期**0.0**）でプラス**16.7**ポイント、収益のDIにおいても**16.7**（前年同期**0.0**）でプラス**16.7**ポイントといずれも良好感が増した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、業況のDIは**16.7**（今期**16.7**）と好調にて安定する見込み。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは**0.0**（今期▲**33.3**）とプラス**33.3**ポイントで回復する予想、収益のDIにおいては**0.0**（今期**0.0**）で今期と変わらない予想である。販売価格のDIは**0.0**（今期**0.0**）と変化ない見込、仕入価格のDIにおいても▲**33.3**（今期▲**16.7**）と▲**16.6**で上昇傾向は強まる見通しである。資金繰りのDIについては**16.7**（今期**0.0**）と窮屈感を脱して容易になる見通し。借入れを予定している企業は**66.7%**（今期実施**50.0%**）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業況	▲20.0	33.3	25.0	33.3	16.7	16.7	
売上額	40.0	33.3	▲20.0	0.0	▲33.3	0.0	
収益	20.0	16.7	▲20.0	0.0	0.0	0.0	
販売価格	60.0	33.3	20.0	33.3	0.0	0.0	
仕入価格	▲60.0	▲50.0	▲40.0	▲16.7	▲16.7	▲33.3	
在庫	▲80.0	▲50.0	▲40.0	▲33.3	▲33.3	▲50.0	
資金繰り	0.0	0.0	▲20.0	▲16.7	0.0	16.7	

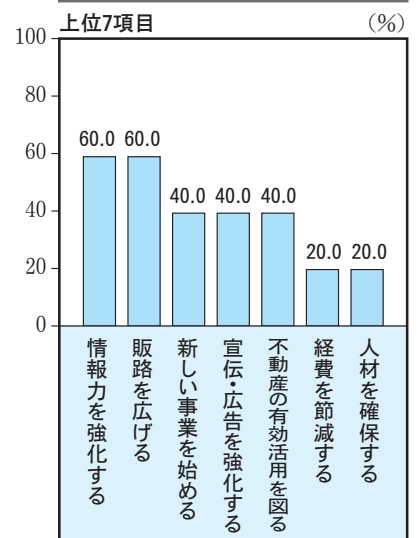
◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借入実施	した	60.0	50.0	60.0	66.7	50.0	66.7
	しない	40.0	50.0	40.0	33.3	50.0	33.3
借入難易度	容易	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	不変	60.0	100.0	100.0	83.3	83.3	—
	難	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	該当なし	20.0	0.0	0.0	16.7	16.7	—

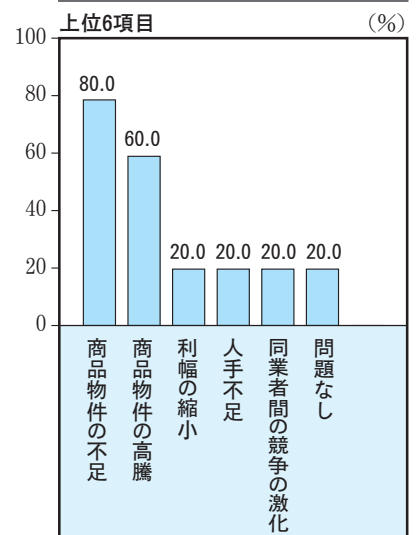
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年				予想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残業時間	増加	0.0	16.7	20.0	16.7	16.7	0.0
	不変	100.0	83.3	80.0	66.6	66.6	100.0
	減少	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
人手	過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適正	80.0	83.3	80.0	66.7	83.3	66.7
	不足	20.0	16.7	20.0	33.3	16.7	33.3

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



特別調査 2025年（令和7年）の経営見通し

問1 貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。

総合では、『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答した企業の割合は**5.3%**（前年**12.4%**）と昨年を下回り、『悪い』（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答した企業の割合は**63.5%**（前年**57.4%**）と高くなっている。『良い』-『悪い』は**▲58.2**ポイントとなり景況は厳しさを増すと予想しているが、1年前の本特別調査（2024年の経営見通し）での同数値**▲45.0**ポイントと比較しても、**▲13.2**ポイントと業況感は落ち込んでいる。

業種別に『良い』-『悪い』を見た場合、全ての業種においてマイナス領域であるが、マイナスが大きい順に、小売業**▲75.0**、製造業**▲60.9**、建設業**▲51.4**、卸売業と不動産業が**▲50.0**、サービス業**▲43.5**ポイントの順となっている。また、卸売業および不動産業ではいずれも「普通」の回答が**50.0%**あったものの『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」）と予想する企業は無かった。

（%）

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
2025年の日本の景気							
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	0.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. やや良い	4.7	4.7	5.4	0.0	3.1	8.7	0.0
4. 普通	31.2	26.6	37.8	50.0	18.8	39.1	50.0
5. やや悪い	45.3	43.8	45.9	37.5	50.0	47.8	33.3
6. 悪い	17.1	21.9	10.8	12.5	25.0	4.3	16.7
7. 非常に悪い	1.2	1.6	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0

問2 貴社では、2025年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。

総合では、『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答した企業の割合は低く**10.6%**（前年**15.4%**）にとどまっているが、一方『悪い』（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答した企業の割合は**49.4%**（前年**40.2%**）と高くなっている。『良い』-『悪い』は**▲38.8**となり、自社の業況（景気）は上記「問1」の日本の景気見通しと同様に厳しさを増すと予想している。1年前の本特別調査（2024年の経営見通し）での同数値**▲24.8**と比較しても、**▲14.0**で業況感は落ち込んでいる。

業種別に『良い』-『悪い』を見た場合、全ての業種においてマイナス領域であるが、マイナスが大きい順に、小売業**▲53.1**、製造業**▲43.8**、建設業**▲40.5**、サービス業**▲17.4**、不動産業**▲16.7**、卸売業**▲12.5**の順となっている。

（%）

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
2025年の自社の景気							
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	1.8	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0
3. やや良い	8.8	9.4	2.7	12.5	6.3	17.4	16.7
4. 普通	40.0	31.3	54.1	62.5	28.1	47.8	50.0
5. やや悪い	38.2	39.1	37.8	25.0	43.8	34.8	33.3
6. 悪い	9.4	15.6	5.4	0.0	12.5	0.0	0.0
7. 非常に悪い	1.8	1.6	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0

問3 2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

総合では、『増加』（「30%以上の増加」～「10%未満の増加」の合計）と回答した企業の割合は**29.4%**、『減少』（「30%以上の減少」～「10%未満の減少」の合計）と回答した企業の割合は**32.4%**であった。『増加』-『減少』は**▲3.0**で『減少』と答えた企業が『増加』と答えた企業を小幅ながら上回った。また、最も多い回答は「変わらない」で**38.2%**、続いて「10%未満の減少」が**22.4%**、「10%未満の増加」が**20.6%**の順であった。

業種別に『増加』-『減少』を見た場合、プラス領域（『増加』が『減少』を上回った）であった業種は、不動産業が**66.7**、卸売業が**12.5**、マイナス領域（『増加』が『減少』を下回った）であった業種は、小売業が**▲15.6**、建設業が**▲13.5**となっている。製造業およびサービス業は**0.0**で変わらない見通しである。

(%)

		総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
売上額の伸び率	2025年の自社の							
	1. 30%以上の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2. 20～29%の増加	1.2	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3. 10～19%の増加	7.6	12.5	5.4	0.0	6.3	4.3	0.0
	4. 10%未満の増加	20.6	21.9	10.8	12.5	21.9	21.7	66.7
	5. 変わらない	38.2	25.0	54.1	87.5	28.1	47.8	33.3
	6. 10%未満の減少	22.4	20.3	24.3	0.0	34.4	21.7	0.0
	7. 10～19%の減少	7.6	14.1	2.7	0.0	6.3	4.3	0.0
	8. 20～29%の減少	1.2	1.6	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 30%以上の減少	1.2	1.6	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	

問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。

総合では、『本年中に好感が出る』（「すでに上向いている」・「6か月以内」・「1年後」の合計）と回答した企業の割合は全体の**57.5%**で、中でも最も多かったのは「1年後」の回答で**24.6%**だった。『好感が遅れる』（「2年後」・「3年後」・「3年超」の合計）と回答した企業の割合は**15.0%**であった。一方で「業況改善の見通しは立たない」と回答した企業の割合は**27.5%**となっており、全体の3割近い企業は先行きが見通せない状況が続くと回答している。

業種別に『本年中に好感が出る』と回答した企業の割合は、製造業**64.1%**で最も高く、次いで、卸売業が**62.5%**、建設業**59.5%**、サービス業**52.4%**、不動産業**50.0%**、小売業**45.2%**の順となっている。また、「業況改善の見通しは立たない」と回答した企業の割合が最も多かったのはサービス業で**42.9%**であった。(%)

		総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
自社の上向き転換点	1. すでに上向いている	18.0	20.3	10.8	25.0	12.9	23.8	33.3
	2. 6か月以内	15.0	18.8	10.8	12.5	16.1	9.5	16.7
	3. 1年後	24.6	25.0	37.8	25.0	16.1	19.0	0.0
	4. 2年後	10.2	12.5	13.5	12.5	6.5	4.8	0.0
	5. 3年後	4.2	0.0	5.4	12.5	9.7	0.0	16.7
	6. 3年超	0.6	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 業況改善の見通しは立たない	27.5	23.4	18.9	12.5	38.7	42.9	33.3

脱炭素化への取組みについてお伺いします。

問5

脱炭素化に向けた取組みの事例

情報提供：コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介
 現状把握：CO₂排出量の算出サービスの紹介
 計画策定：省エネ診断の紹介、CO₂排出量削減計画の策定支援
 対策実行：LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援
 資金供給：サステナブルファイナンス（SDGs・脱炭素化対応融資）

貴社は脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に上の枠の取組みを行っていることを知っていますか。

総合的に見ると、「事例の紹介」が**33.5%**で最も多く、次に「特にない」で**22.8%**、続いて「行政からの支援内容の紹介」が**19.2%**、「設備導入支援」**10.8%**、「省エネ診断」**4.2%**の順となった。

業種別に見ると、「事例の紹介」が最も多かった業種は、不動産業が**66.7%**、製造業が**38.1%**、卸売業が**37.5%**、建設業が**33.3%**、サービス業が**27.3%**の順であった。卸売業とサービス業では「特にない」も「事例の紹介」と同率で最も多い回答となった。また、小売業では「特にない」が最も多い回答で**34.4%**であった。

『信用金庫業界の取組状況』では、「知っている」が**20.6%**、「知らない」が**79.4%**で全体の約8割の企業が知らないとの回答であった。(%)

		総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
期待する取組み	1. 事例の紹介	33.5	38.1	33.3	37.5	21.9	27.3	66.7
	2. 行政からの支援内容の紹介	19.2	15.9	22.2	25.0	12.5	31.8	16.7
	3. CO ₂ 排出量の算出	3.0	1.6	2.8	0.0	6.3	4.5	0.0
	4. 省エネ診断	4.2	6.3	2.8	0.0	3.1	4.5	0.0
	5. 削減計画の策定	3.6	4.8	2.8	0.0	6.3	0.0	0.0
	6. 設備導入支援	10.8	11.1	13.9	0.0	15.6	4.5	0.0
	7. サステナブルファイナンス	3.0	3.2	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7
	8. 特にない	22.8	19.0	16.7	37.5	34.4	27.3	0.0
状況組	9. 知っている	20.6	29.5	22.9	0.0	9.4	13.0	33.3
	10. 知らない	79.4	70.5	77.1	100.0	90.6	87.0	66.7